

伊集院保健所感染症情報

2025年第39週（令和7年9月22日～令和7年9月28日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内流行発生警報発令！：水痘，咽頭結膜熱

管内流行発生警報発令中：伝染性紅斑

定点医療機関【インフルエンザCOVID2，小児科1，基幹定点1，ARI2】

疾 患 名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第36週	第37週	第38週	第39週	先週からの増減	第38週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	118.00	108.00	102.50	107.50	↗	61.46	↘
インフルエンザ	30	10	10	1.50	3.50	7.00	2.50	↘	3.07	↗
COVID-19	—	—	—	15.00	15.50	5.00	10.50	↗	8.79	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	2.00	5.00	0.00	4.00	↗	0.81	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	2.00	2.00	4.00	3.00	↘	1.48	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	5.00	4.00	3.00	1.00	↘	4.35	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.00	1.00	3.00	↗	0.13	↘
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.26	↘
伝染性紅斑	2	1	—	3.00	3.00	5.00	3.00	↘	2.29	↗
突発性発しん	—	—	—	0.00	1.00	0.00	1.00	↗	0.32	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	1.00	0.00	0.00	→	0.55	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.10	↘
R S ウイルス感染症	—	—	—	4.00	2.00	3.00	1.00	↘	2.03	↘
全数報告（カッコ内は本年の累積数）			百日咳2（56）							
※警報域　：太文字で赤色の塗りつぶし，　　注意報域　：太文字で黄色の塗りつぶし										

TOPIC 10月から65歳以上を対象に

新型コロナワクチンの定期接種が始まります。



詳細はこちら↑

新型コロナウイルス感染症によって重症化する割合は，65歳以上で高く，重症化しやすいこの年代の方及びこの年代に近く，一定の基礎疾患を有する方を対象に10月から定期接種が始まります。

今年度は，NB.1.8.1（ニンバス株）にも効果が期待されるワクチンを使用します。

接種対象者：①65歳以上の方

②60～64歳で心臓や腎臓，呼吸器の機能に障害があり，身の周りの生活を極度に制限される方

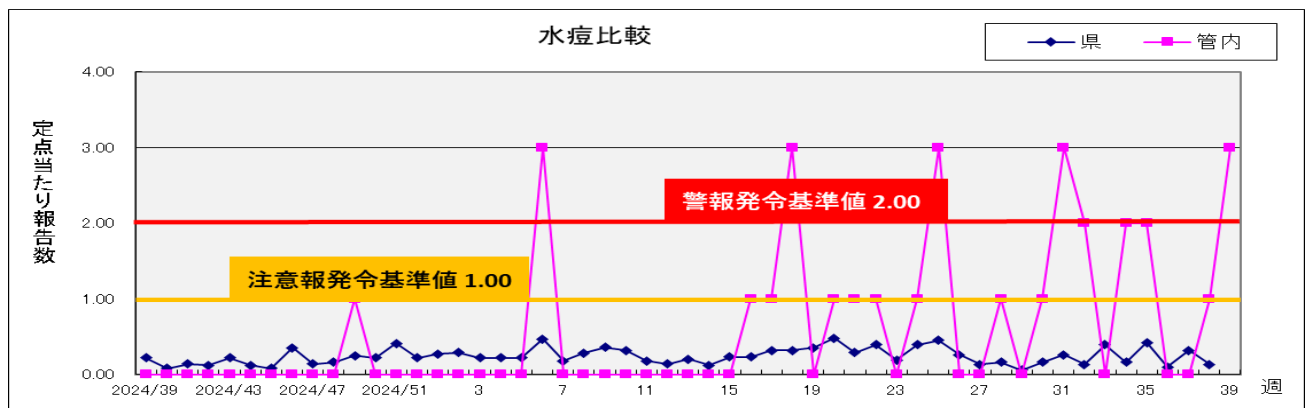
③60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害があり日常生活がほとんど不可能な方

接種期間：10月1日～翌年3月31日（詳細は，お住まいの市町村へ問い合せ下さい）

接種料金：原則有料（お住まいの市町村へお問い合わせ下さい）

● 注意すべき感染症

・水痘（流行発生警報発令！）



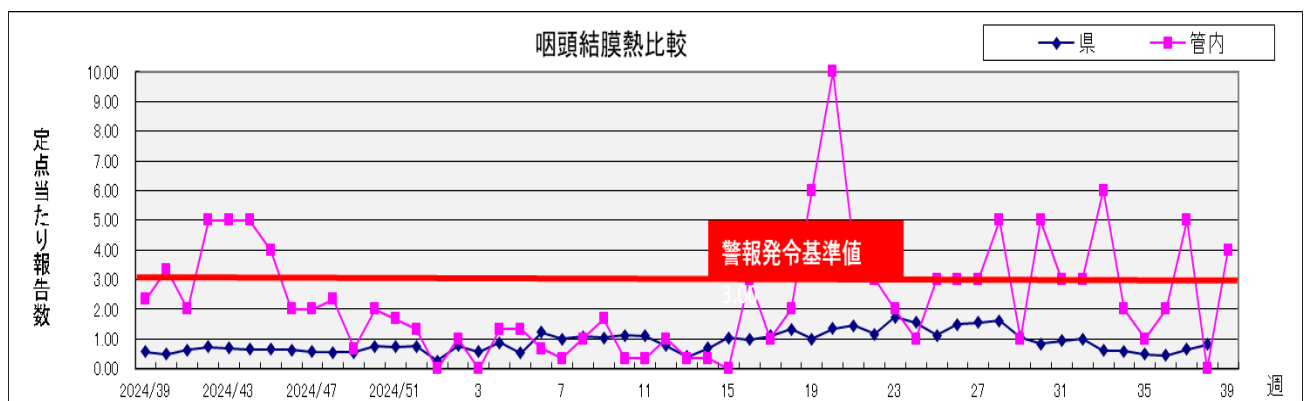
第39週の伊集院保健所管内における水痘の報告数は、3人でした。年齢別では、6ヶ月～11か月・1歳・5歳（各1人）でした。

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、これは水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。感染から2週間程度の潜伏期間を経て発疹が現れます。臨床経過は一般に軽症で、倦怠感、掻痒感、38℃前後の発熱が2～3日間続く程度です。典型的な症例では、発疹は紅斑（皮膚の表面が赤くなること）から始まり、水疱（水ぶくれ）を経て痂皮化（かさぶたになること）して治癒します。

感染経路には、空気感染や飛沫感染、水疱の内容物との接触による接触感染などがあり、発疹が出現する1～2日前からすべての水疱が痂皮化するまで感染力があります。

予防方法としてはワクチン接種が推奨されています。周囲に患者がいる場合は、患者との接触を避け、手洗いを励行しましょう。

・咽頭結膜熱（流行警報発令！）



第39週の伊集院保健所管内における咽頭結膜熱の報告数は、4人でした。年齢別では、1歳（2人）、3歳・4歳（各1人）でした。

咽頭結膜熱は、小児の急性ウイルス性感染症で、飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染で拡大します。感染予防策としては、タオルの共用はせず、感染者と密接な接触を避け、流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況9/22～9/28（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが51人（インフルエンザ型不明39人、A型12人）、溶連菌感染症が2人、マイコプラズマ感染症が2人、COVID-19が10人報告されています。

疾患名 自治体名	インフル エンザ	インフルエ ンザA型	溶連菌 感染症	マイコプラ ズマ感染症	新型コロナ 感染症
日置市	0	0	2	2	8
いちき串木野市	39	12	0	0	2
三島村	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0
計	39	12	2	2	10